

投票番号
3

好きを仕事にするための旅路！ エンタメ×キャリア教育授業

- 日本のエンターテインメントに関わる方から生き方（キャリア）を学ぶ出張授業
- 今年のテーマは「自己決定」と「読書」



昨年度は声優の中川亜紀子さんをゲストに迎え、特別な職業講話と素敵な朗読ステージをお届けしました！

事業の
ねらい

■ 自律的な選択能力の育成と読書へのきっかけづくり

大人になることをまだ具体的に想像しにくい児童たちが、朗読鑑賞とゲストのキャリアを通して、自己決定の大切さと本(物語)から学ぶことの奥深さを体感する。キャリア教育と読書推進の二つの側面を持った体験型授業の実施。簡単な自己決定ワークの時間も実施予定。

事業計画書

事業名	好きを仕事にするための旅路！エンタメ×キャリア教育
実施場所	沼津市内の小学校
実施予定期間	※イベントや研修会等の当日だけでなく、準備期間・実績の取りまとめ期間等も含めて記載してください。 2026年 9月 16日 ～ 2027年 3月 31日

◎事業概要

※事業の概要を100～200字で簡潔に記載してください（事業の紹介などで使用します）。
大人になることをまだ具体的に想像しにくい児童たちが、声優の朗読とその人自身のキャリアを通して、自分の意志で決めることの大切さと本(物語)から学ぶことの奥深さを体感する。キャリア教育と読書推進の二つの側面を持った体験型授業の実施。

◎目的

※事業を行うきっかけ（地域の問題点や課題、社会背景など）と、その解決のために何をするのかを記載してください。

・現状と課題

①意思決定能力が問われる時代である

変化の激しい現代社会の中、自らの責任で主体的に判断しながら自立して生きていくためには、必要な情報を収集し、自ら選択する能力「意思決定能力」を養う必要がある。

キャリア教育において、意思決定能力は「職業観・勤労観を育む学習プログラムの枠組み（例）」（国立教育政策研究所）に4項目の職業的（進路）発達にかかわる諸能力の中の1つであり、選択能力（自分の意思で方向付ける）と課題解決能力（自分の意思に基づいて行動する）に分けられると定義されており、文部科学省が発刊した「小学校キャリア教育の手引き（2022年3月）」にも掲載されている。

（引用）

・小学校キャリア教育の手引き（2022年3月）

https://www.mext.go.jp/content/20221020-mxt_jidou01-000024019_1.pdf

・研究主題「児童が意思決定能力を高めていく学習の在り方ー総合的な学習の時間におけるキャリア教育を通してー」東京都教職員研修センター研修部教育経営課

<https://www.kyoiku-kensyu.metro.tokyo.lg.jp/09seika/reports/files/kenkyusei/h18/k-29.pdf>

②読書時間・機会の減少

民間企業の調査によると「読書をしない」子どもは10年前と比べて1.5倍に増加しており、小学1～3年生では1.73倍もの増加が見られる。

（引用）

・株式会社ベネッセコーポレーション「読書をしない」子どもは10年前と比べて1.5倍に増加 スマホ時間と読書時間は逆相関関係があり、読書0分の子は語彙力・読解力が低い傾向

https://benesse.jp/berd/special/childedu/pdf/newsLetter/newsLetter_20251020.pdf

③読書と意思決定能力に関するデータ

国立青少年教育振興機構「子どもの頃の読書活動の効果に関する調査研究」によると、読書量の多い児童ほど、意思決定において必要な主体的行動力や批判的思考力などの非認知能力が高い傾向にあると言える。

(引用)

・ 国立青少年教育振興機構「子どもの頃の読書活動の効果に関する調査研究」

<https://www.niye.go.jp/pdf/r3dokusyogaiyou.pdf>

・ 事業の目的

①自律的な選択能力の育成

ワークを通じて、自らの意思で選ぶプロセスを体験し、児童自身の「選択する力」を養う。

②読書へのきっかけづくり

声優の朗読を通じ、児童が「物語の世界」に没入する楽しさを体験することで、読書への興味と機会の創出が可能。また、ワークで自身のタイプ(性格)を知った上で、これからの人生の参考になる本(物語)等について、図書館で手にとり開いてみることをつなげる。

・ 声優の役割と起用目的

①物語を「体験」に変える導き手。声のプロによる没入感の創出。

児童の「言語能力」と「読書への関心」を高めていくための役割。

②児童が興味を持ちやすい「アニメ」に関わる職業人であること。

日頃アニメを楽しむ側の児童が、「物語の魅力を最大限に引き出すプロの仕事」を目の前で体験することで授業への興味や関心を生み出す。キャラクターの一番近くにいる声優から、キャリア観に対する価値観や意思決定の際に心がけていることを学ぶ。

◎実施内容

日 程	実施項目・作業項目
26 年 9 月 ～26 年 10 月上旬	※イベントや研修会等の行事日程だけでなく、実施内容(打合せ・会議・資料作成・参加者募集・準備・検討会)、実施場所、参加対象、人員配置、役割分担など、事業期間すべてにわたる実施内容を記載してください。 ※ハード部門については、12 月 31 日までに施設整備を終え、その後は施設を活用する計画としてください。 協力団体への正式な協力依頼。登壇候補者の決定とスケジュール確認 教育委員会への正式な協力依頼。小中学校への交渉。
26 年 10 月下旬	受け入れ校の決定、登壇者決定と正式なオファー
26 年 11 月 ～26 年 12 月	授業内容の構築、協力団体・登壇者との授業内容のすり合わせ、事前準備
27 年 1 月下旬 ～2 月上旬	授業の実施
27 年 2 月下旬	アンケートの回収と集計、分析
27 年 3 月	各方面への実施報告書作成

◎事業効果

※事業の実施により、期待される効果を記載してください。

教育的価値

- ・「自分で選ぶ(自律的選択)」というキャリア形成の原体験ができる。
- ・読書活動推進及び、図書館利用のきっかけづくり。

地域的価値

- ・沼津の民話を取り扱うことで、地域ならではの歴史を周知させることができる。
- ・「アニメ聖地ならではのキャリア教育」の特色化。

行政的価値

- ・キャリア教育における「官民連携モデル」の実現。

学習指導要領で求められる「社会に開かれた教育課程」の地域と連携・共同に沿ったプログラムを実施することができる。また民間の団体が主体となって実施するため、比較的人的コストを抑えて実施することも可能。

成果指標	※事業効果を客観的に評価できるよう、具体的な数値等を用いて成果指標を設定してください。 実施数：1校 参加目標人数：100名 (生徒アンケート) 理解、必要性、共感、気づき →各項目平均数値 3.6 以上 (職員アンケート) 教育的価値、妥当性、機会的価値、継続価値 →各項目平均数値 3.7 以上	指標の 検証方法	※左記指標の検証方法を記載してください。 生徒・学校職員アンケートの8つの質問に対して、4段階評価を設定して数値化。 (1：全くそう思わない 2：あまりそう思わない 3：まあまあそう思う 4：とてもそう思う)
-------------	---	---------------------	--

◎評価の視点に合致していることの説明 ※評価の視点については、募集の手引きを必ず確認して下さい。

社会的 必要性	※まちの活性化や魅力づくりのために有益であり、不特定多数の利益につながる質の高い事業であるか。 沼津市教育基本構想の教育を取り巻く課題項目ア「子供と若者を巡る課題」において、子供たちが「豊かな体験を」する機会が減少し、知的好奇心の源泉でもある体験が不足と記載されている。今回の授業での、朗読観賞やワーク通じて、自らの意思で選ぶプロセスを体験し、児童自身の「選択する力」を養う事ができる。児童が自律的な選択能力を持つ事は、目的に向かって能動的に行動する能力と態度を育て、社会的自立・職業的自立に繋がる。
地域性	※地域課題の解決や地域資源の活用につながり、地域住民を巻き込めるか。 沼津市は映画のロケーション地、アニメコンテンツの聖地、年間多数のイベントの開催などエンターテインメントの文化が根付いた街である。土壌がある中で、エンタメ文化とキャリア教育を組み合わせることは、その街独自の教育モデルとしての独自性を高め、付加価値を生み出す事へ繋がる。 また沼津の民話を朗読に取り扱うことで、児童へ地域ならではの歴史を周知させることができる。
独創性	※申請者ならではの着眼点や個性が見られ、新規性、チャレンジ性があるか。 声優からキャリア観を学ぶ授業は、専門学校以外でかつ地方での実施ケースが少ない。また従来のような「講義型職業講和の実施」ではなく、生徒参加型のワークを導入する事でインタラクティブ性のある授業を展開する。 これらを踏まえ、当事業の実施は、沼津市内児童に向けて、多様なキャリア育成の幅を広げることが期待できる。
実現性	※資金やスケジュール、法令順守、関係者との調整に問題がなく、予算や効果が適正であるか。 本企画の実施にあたって、団体設立時から自団体のイベント企画や大型イベントへの協力で培ってきたノウハウやコネクションを活用できるため、関係者とのスケジュール調整、各種交渉などのコミュニケーションも問題ない。 さらには去年度実施した実績があるため、これまで以上にスムーズな運営が可能。
発展性	※事業の波及効果が見込まれ、意欲をもって主体的かつ継続的な活動ができ、資金確保への取り組みも十分な。 今後、少子化による人材不足が加速するため、社会においては1人1人の目的意識の高さ、経験と能力が求められる。児童に対して早期にキャリア教育を実施することで人生の目的と価値を自ら見だし、能動的に行動することの積み重ねが社会で活躍する人材への成長に繋がる。また今年度は「読書推進活動」をテーマに実施を行うことで、児童の読書活動増加が期待できる。

◎次年度以降の活動予定

※ソフト部門（ステップアップ型）新規または2回目の応募で、助成の継続（最大3年まで）を希望する場合は、今後の活動予定と事業継続のための戦略について記載してください（今回の応募が次年度以降の助成を約束するものではありません）。

次年度以降は今年度、前年度の実績を持って、市内図書館や公共施設などを活用した中規模の教育イベントの実施を検討中。また、今回を含めた事業を継続するための資金調達には、団体の法人化が必須になるため、今後2～3年以内の法人化も視野に入れて事業を実施予定。

◎実績の評価と改善点（継続事業のみ）

※継続事業については、過去の実績に対する自己評価と実績を踏まえた改善点等について記載してください。

（前年度の自己評価について）

アンケートから見た前回の成果は以下の通りである。

生徒：理解→3.71、必要性→3.79、共感→3.73、気づき→3.56

職員：教育的価値→3.86、妥当性→3.57、機会的価値→3.71、継続価値→3.86

各評価を％に換算した場合、生徒からの評価は87.25～95.59％、職員からは85.71～96.43％だったため概ね好評な事業であったと考える。また生徒アンケートに「職業講話で学んだことをどう活かしていきたいか？」の自由項目を設けたが、どの生徒からも前向きな感想が記載されていた。特に講話を通して、現在の自分に必要な「人生のヒント」が学べた旨の感想が多数記載されていたため、生徒にとって価値のある時間を提供できたと考える。

事業が成功した1番の要因として、協力いただいた全ての関係者様が教育に対して大きな熱意を持たれていた事があると考え。

（改善点）

スライド無しかつ、ワーク形式の時間が無かったため、生徒が聴くだけの授業になってしまった。また生徒に対して話者の情報開示が少なかったため、情報の収集等事前学習に繋がりにくい状況生まれてしまった。これらの反省を活かして、今回はスライド等の視覚情報を活用し、かつ生徒参加型のワークの時間も確保した授業の実施を検討中。